


大韓民国		
		
<p>太極旗ともいわれ、宇宙生成の原理を元に作られている。中央の円は太極といって宇宙を表し、青は陰を、赤は陽を示し、万物は陰陽によって調和し統一されるとされている。四隅にあるのは易の卦で、天地火水、父母男女を表し、すべてが対比により和合していることを示している。太極旗は宇宙の調和を求める漢民族の生活そのものを表している。</p> <p>独立：1948/8/15 日本より 国連加盟：1991/9/17 政体：共和制</p>		国 の 概 要
	首都	ソウル
	国土	面積 約 100,000 km ² (北海道の 1.3 倍) 朝鮮半島の南半分を占め、国土の 70% は丘陵地と山地に占められている。東部に太白山脈が走り、西部は沖積平野が広がる。南部と西部の海岸線は複雑なリアス式海岸で、多くの島が点在している。
	人口	4,780 万人
	言語	韓国語 (公用語)
	通貨	ウォン
	気候	全般に温帯モンスーンに属し四季が明瞭であるが、寒暑の差が大きく、大陸性気候の特色も合わせもっている。南部は温和で 6～9 月に雨が多く、北に進むにつれ冬の寒さが厳しくなり、雨も少なくなる。
	民族	朝鮮人 (韓民族)
	宗教	キリスト教 49%、仏教 47%、儒教 3%
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初等学校 (小学校) 6 年間 (6～12 歳)、中学校 3 年間 (13～15 歳)、高等学校 3 年間 (16～18 歳)、短期大学 (2 年) 大学 4 年 (19～22 歳) である。 ・ 国、公、私立の学校がある。
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の小学校に当たる初等学校と中学校が義務教育の期間であり 9 年間となっている。 ・ 授業料は公立は無償だが、そのほかに、給食費、副教材費、研修旅行費がかかる。
	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校年度は 3 月 1 日から翌年の 2 月末日までであり、2 学期制度を採っている。1 学期は 3 月から 7 月、2 学期は 9 月から 2 月末となっている。 ・ カリキュラムは日本の学習指導要領と同様の教育課程を政府が定めている。教科書は科目によって国定教科書と検定教

	<p>科書が併用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目や授業時間は日本と大きく変わらない。小学校 6 年生では、国語、算数、科学、社会、英語、道徳、体育、音楽、美術、実科、特別活動の科目がある。
義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・高校は大学進学を目的とする普通学校と就職を目的とする実業系学校の 2 種類に分けられる。高校への進学率は 2003 年では 99.7%となっている。 ・高校入試は、学区に基づく総合選抜制である。私立を含めたすべての高校において、内申書、適性試験の成績、居住地から自治体の教育委員会によって振り分けられる。 ・大学は専門職業教育を行う「専門大学」(2・3 年制) とアカデミックな色彩の強い「大学(校)」(主に 4 年制) に分けられる。他には産業大学、教育大学などがある。 ・大学への進学率は近年急上昇しており、1993 年で 38.4%であったものが 1995 年には 51.4%に、そして 2007 年には 83%となった。大学までは親が行かせたいというのが、一般的なので、以前は大学を卒業すると社会的に認められていたが、今では、誰でも大学に就いているので、大学のレベル競争が深刻化している。
就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育機関として幼稚園があり、対象年齢は 3 歳～初等学校就学までの期間である。私立の宗教法人の幼稚園が多い。費用は原則として自己負担である。 ・インターナショナル幼稚園もある。 ・小学校に入る前に日本語のひらがなのように、韓国語のハングルが少し書けるように勉強させる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的に学問を重視する社会風土があり、現在も過度の受験競争や学問偏重、私教育費の膨張等が社会問題になっている。 ・儒教の影響もあり、教員の社会的地位は高いほうで、教員採用試験の競争が激しい。 ・兵役のために大学を休学する男子学生も多くいる。年齢は 19 歳～、期間は 24 ヶ月ほどである。
休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みは、小・中・高校は 7 月の半ば～8 月末、大学は 6 月末～8 月末である。 ・冬休みは、小・中・高校は 1 月～2 月(2 月に 2 週間ぐらい学校に行く学校もある。その場合は 12 月末から冬休みに

		なる場合がある)、大学は 12 月末～2 月である。
学 校 生 活	学級担任制、 教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、主に 1 人の担任が全ての教科を担当する。音楽、美術などは専門の教師が担当する。 ・中・高校は完全な教科担任制である。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は 6 歳から入学だが、5 歳から入学許可される場合がある。 ・出席日数が足りない場合は、落第する。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動は授業の 1 コマとして設置されている。放課後の部活動もある。 ・小学校 3 年生から、週 1～2 時間、英語教育が義務付けられている。ALT も派遣されている。 ・情報インフラの整備が進んでおり、IT を利用した授業が展開されている。 ・音楽では、伝統音楽も習う。実科は日本で言えば家庭科に似ていて、料理や縫い物の他、コンピュータの使い方を習う。 ・礼節教育の授業は、目上の人への言葉遣いやおじぎの仕方などを習う。その時は、韓国の伝統的な衣装である韓服（はんぼく）を着る。 ・高校では、中国語、日本語など（フランス語・ドイツ語）が第 2 外国語として教えられている。
	学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によって違うが、月 1 回全校朝礼がある。 ・入学式や卒業式などの儀式的な行事は日本と同じである。 ・運動会、文化祭、修学旅行は日本と同じように実施されている。 ・学芸会、合唱大会、学園祭、美術展覧会、写生大会がある。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食法 6 条で、「学校給食は教育の一環として運営されなければならない」と規定されている ・給食は月曜日から金曜日、原則として初等学校から高等学校の全学年で実施されている。当番の人がごはんやおかずを配って食べる。(給食のメニュー例・・・玄米ごはん、海鮮みそ汁、キムチとハムの炒め物、うずらの卵の煮付け、黄桃、牛乳) 給食代は 1 ヶ月ごとに保護者の銀行口座から自動的に引き出される。 ・給食施設がない学校もある。食堂のような所で、準備も全部やってくれる所もあるが、学生たちが自ら準備する所もある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・校内に購買があり、授業間の休憩時間に飲食をしている。おやつを持参してもよい。
チャイムや号令	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムは全ての授業の切れ目に鳴らされる。昼休みの時は授業の始まり 5 分前に鳴る予備チャイムがある学校もある。大学にはチャイムがない。 ・号令も授業が始まる時にかけている。
教室における行動様式等の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業が多い。 ・コンピュータの設備が非常に整っており、授業でコンピュータが駆使されている。 ・冬休みと夏休みの宿題はたくさんある。
校則	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での服装は自由であるが、中・高校では制服がある。スカートの丈や髪の色は決められている。化粧、ピアス、アクセサリーは禁止されている。くつしたの色まで決められているところがある。 ・学校指定のかばん、靴、体操服があるところがある。
保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・年に 1~2 回ぐらい授業参観がある。 ・運動会のような行事にも参加する。 ・保護者会もあるが、保護者が参加するかどうかは自由である。バザーなどを開く。 ・小学校の場合、教室の環境整備等は保護者の協力のもとに飾られている。 ・給食費・副教材費・研修旅行費などは保護者負担である。 ・高校のときは、一生懸命勉強している子どもたちのために、おやつを配ったりする。例えば、自習時間の間の休み時間にピザやチキンなどを配る。
子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> ・午前から授業で、授業の後、塾に行く子どもも少なくない。受験のための学習塾や水泳、ダンス、絵画、テコンドー、英語、ピアノ教室、舞踊などの習い事に通う。 ・帰宅後は宿題やテレビ、インターネット、家族との食事と談話をし、11 時頃に就寝する。 ・土曜日は「現場体験学習」といって、学校に行かなくて、家で過ごしたり、親とどこかに体験学習したりする。

	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全国一斉テストが実施されており、各校へ成績が知らされる。教員は、その結果に敏感で、学校間や地域間で競争意識を持っている。 ・教育熱心な家庭は、教育レベルの高い地域へ引越しをすることもある。海外への留学などもある。 ・受験競争が激しく、塾や家庭教師を雇い勉強している。 ・塾の行き来の関係もあるが、夜遅い時間でも小学生を街中で見かける。 ・韓国の歴史、社会などを徹底して指導しており、愛国心が育てられている。
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・公用語は韓国語だが、第2外国語として英語が必須とされている。 ・漢字の氏名を持っているが、多くの人は漢字の読み書きが下手である。最近、政府は漢字を指導する体制にしようとしている。 ・日本語の学習では、清音と濁音が混同したり、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかなくなったりすることがある。
	宗教上の忌避事項	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない。
	指による数え方 計算方法等の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・親指から順に小指に向けて数える方法と人差し指から開きながら数える方法がある。
	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・箸とスプーンを一緒に使うのが一般的である。ご飯と汁物はスプーンで、おかずは箸で食べる。 ・食器はテーブルに置いたままで食べる。手に持って食べることは行儀が悪いとされている。 ・代表的な料理「チヂミ」は、生地の中に野菜や魚介・肉などの材料を混ぜてフライパンで焼く料理である。
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・四季があるので、季節に合わせて服を着る。 ・都市部では、高層のアパートが多い。 ・室内はくつを脱いで生活する。床にはオンドルの床暖房施設がある。 ・浴室とトイレが一緒の場合が多い。
	交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・車は右側通行で、交差点の信号は日本と同じ「赤青黄」で「→」信号もある。しかし、手前の信号がたとえ赤でも、車の右折については、安全ならば行ってもよいことになっている。 ・大通りは5～6車線もある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者信号は、赤から青に変わるとすぐに点滅する。 ・自転車をあまり使っていないので、自転車専用道路や駐輪場は少ない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・主な遊びとして、ヨンナリギ（たこあげ）、ノルティギ（板のり）、クネティギ（ぶらんこ）、シルム（韓国のすもう）、チャギチャギ（羽けり）、ムンアコ キピュオ スムニダ（だるまさんがころんだ）がある。 ・ジャンケン（じゃんけん）は日本と同じやり方で、パウィ（グー）、ガウィ（チョキ）、ポ（パー）で勝ち負けを決める。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・世界の国・地域の紹介・・・・・・・・SIRAキッズ
- ・韓国の子どもたちの学校・家庭・暮らし・・・・・・・・学研ハローワールド
- ・教育事情あの国この国・・・・・・・・全教研
- ・韓国の遊び・・・・・・・・ALE-NET
- ・韓国の学校・・・・・・・・首相官邸キッズルーム
- ・かわさき教育だより 社会科見学「世界の給食」・・・・・・・・川崎市教育委員会
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・井上恵子
- ・海外日本人学校勤務経験教員より
- ・留学生より（5名）